



平成 28 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン
 (JASDAQ・コード番号：2776)
 代表者名 代表取締役社長 川村 邦生
 問合せ先 取締役管理部長 黒田 直樹
 電 話 03-6659-5141

営業外収益(為替差益)の発生及び
 平成 29 年 1 月期第 2 四半期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は、営業外収益（為替差益）を計上する見込みとなりましたのでその概要をお知らせするとともに、平成 28 年 3 月 11 日に公表いたしました平成 29 年 1 月期第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の内容及びその金額について

期中の為替相場の変動により、外貨建債務等について約 49,000 千円（第 2 四半期会計期間、約 16,000 千円）の為替差益が発生いたしましたので、営業外収益に計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1)平成 29 年 1 月期第 2 四半期累計期間(非連結)(平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)
 (単位:百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	413	△21	△21	△22	円 銭 △3.07
今回修正予想 (B)	380	△48	5	5	0.60
増 減 額 (B-A)	△33	△27	26	27	
増 減 率	△7.99	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期累計実績 (平成 28 年 1 月期第 2 四半期)	292	△120	△136	△137	△19.19

3. 業績予想の修正理由

当第2四半期累計期間におきましては、個人消費につきましては弱い動きから厳しい消費マインドの中で推移いたしました。

その中卸売事業におきましては、ブランドごと及び得意先ごとに分類し、商品企画提案力強化を行い営業活動に努めました。

売上高については概ね想定通りに推移したものの、厳しい消費行動や低価格志向から、価格競争の影響を受け売上総利益を落とすこととなりました。

ライセンス事業におきましては、ブランド広告費用の削減によるブランド露出度の低下による影響や、卸売事業との協業が連動不足となり、売上高及び売上総利益を落とすこととなりました。

販売費及び一般管理費につきましては、概ね想定通りに推移したものの、売上総利益を落とした分をカバーできず結果として、営業利益を落とすこととなりました。

また、1.のとおり外貨建債務等について営業外収益の為替差益が発生したことにより、経常利益及び四半期純利益が増加いたしました。

以上の結果、前回発表予想を営業利益は下回り経常利益及び四半期純利益は上回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。尚、通期の業績予想につきましては、秋物・冬物衣料の比較的高価格商材の商戦期であり、年末年始商戦もあることから現時点では修正は行っておりません。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上